

## 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）～にし阿波振興計画～」 （最終案）の概要について

### 1 趣 旨

平成27年8月に策定した「西部圏域振興計画（第3期）」の計画期間が平成30年度で終了したため、これまでの取組みの成果やSDGsなどの新たな時代の流れなどを踏まえ、西部圏域の目指すべき将来像やその実現に向けた今後4年間の施策を示す新たな振興計画を策定する。

### 2 構 成

次の3層構造により構成

【長期ビジョン】2060年頃を目指すべき将来像

【中期プラン】2030年頃を見据えた施策の方向性

【行動計画】今後4年間（2019～2022年度）に取り組む重点施策

※「長期ビジョン」及び「中期プラン」は、前回会議で提案済み。

### 3 今会議での提案

#### 「行動計画」

「長期ビジョン」及び「中期プラン」を基に、当面取り組むべき4年間の主要施策を数値目標や達成年度などの行程で明示したもの。

# 第4期「西部圏域振興計画」長期ビジョン・中期プラン(案)の概要

2060年頃の目指すべき将来像  
＜長期ビジョン＞

日本の原風景を残す豊かな風土で  
世界を魅了している  
にし阿波



安全・安心な暮らしを礎に  
夢を持ちチャレンジしている  
にし阿波



独自の伝統と多様な交流が  
潤いを生み出している  
にし阿波



2030年頃を見据えた主な施策の方向性  
＜中期プラン＞

## 1 観光・移住・交流による地域活力の創生

- ・「世界水準DMO」を核とした観光地域づくりと、AIによるデジタルマーケティングを活用した魅力の発信
- ・「世界農業遺産」など多彩な地域資源を活かした「体験型観光」による圏域全体への誘客の拡大
- ・多言語標識、自動翻訳(AI)、キャッシュレス決済など、外国人にもストレスフリーな環境づくり
- ・国内外から「にし阿波ファン」を獲得し、圏域を支える多様な人材の受入れや交流の促進

## 2 豊かな地域環境の次世代継承

- ・地域を挙げた自然保護活動を通じた「剣山国定公園」の豊かな自然の保全
- ・住民や事業者の環境意識の醸成による美しく快適な生活環境の創造
- ・野生鳥獣の適正管理と、「にし阿波ジビエ」の国内外へのさらなる発信・普及
- ・森林資源の有効活用と、伐採後の速やかな植林による循環型林業の推進

## 3 誰もが安全で安心できる地域社会の形成

- ・広域的な防災拠点・後方支援拠点となる「西部健康防災公園」の機能強化
- ・IoTやAI等を活用したインフラ整備や維持管理により、あらゆる自然災害の未然防止
- ・「災害時コーディネーター」のスキルアップによる保健医療福祉分野における危機管理体制の充実
- ・高病原性鳥インフルエンザ等に迅速かつ的確に対応できる「家畜防疫体制」のさらなる強化

## 4 誰もが幸せに暮らせる地域の実現

- ・地域全体で子育てを支援し、子どもを温かく見守る「子育て協働支援社会」の形成
- ・「アクティビジニア(元気な高齢者)」が活躍する「生涯現役社会」の実現
- ・認知症高齢者、障がい者、ひとり親家庭などを支える「地域の絆」を深化
- ・障がい者スポーツの普及や「打糖!糖尿病」に向けた運動習慣の定着と食生活の改善支援

## 5 持続可能な地域経済の推進

- ・「世界農業遺産」や「千年のかくれんぼ」ブランド力の強化による国内外への販路拡大
- ・ロボット技術の活用などスマート農業により、多様な担い手が活躍する「にし阿波農業」の実現
- ・ドローンやGIS等を活用した森林の現状把握や木材の生産性向上による地域林業の活性化
- ・国内外の企業と地域の事業者とのマッチングによる新ビジネスの創出や外資系SOの誘致

# 第4期「西部圏域振興計画」行動計画【令和元年度～令和4年度】(案)の概要

## 第3期計画までの主な成果

- 日本で唯一の「トリプル認定」世界農業遺産・食と農の景勝地・観光圏
- **インバウンドの顕著な増加**
- 「西部防災館」を含む「**西部健康防災公園**」完成

## 新たな動き

- トリップル認定を活かした
- 地元企業とSO企業との**連携ビジネス創出**
- 地域資源を活用した**新商品開発**
- **ワーケーション**適地として国内外への発信

## 新しい時代の流れ

- **SDGs**(「持続可能な開発目標」)への貢献
- 5G、IoT、AIなど**急速に進む技術革新**
- 「**ダイバーシティ社会**」の推進
- 地域全体での**働き方改革**

## 【重点項目2】

### 豊かな地域環境の次世代継承

- 1 **美しい自然環境との共生**
  - 「剣山ファン」のさらなる拡大
  - 地域が一体となった環境保全活動の推進や自然保護を担う新たな人材を育成
- 2 **良好な地域環境の創造**
  - 環境に優しい地域づくりを推進
  - 将来の環境保護に携わる人材育成の推進
- 3 **環境資源の積極的な活用推進**
  - 鳥獣被害対策の推進と「ジビエ料理」の普及・定着
  - 「森林経営管理法」に基づく適切な管理の推進

## 【重点項目4】

### 誰もが幸せに暮らせる地域の実現

- 1 **子どもの育ちをはぐくみ、支える地域づくり**
  - 誰もが安心して子どもを生育できる地域づくりを推進
- 2 **心を寄せ合う地域福祉の充実**
  - 高齢者や障がい者、ひとり親家庭などが、住み慣れた地域で、より安心して暮らせる環境づくりを推進
- 3 **健康寿命延伸に向けた地域力の向上**
  - 糖尿病やCOPDなどの生活習慣病対策の強化やこころの健康づくりを推進

## 【重点項目1】

### 観光・移住・交流による地域活力の創生

- 1 **人が行き交う「にし阿波」活づくり**
  - 日本版DMO「そらの郷」を核とした、世界に通用する競争力の高い観光地域づくり
  - 世界水準DMOの育成や圏域内での周遊ルートづくり
- 2 **深化する「にし阿波」魅力づくり**
  - 「世界農業遺産」の傾斜地集落での暮らし体験や古民家ステイなどの体験型観光の推進
  - スポーツツーリズムの推進
- 3 **地域を挙げた「おもてなし」態勢づくり**
  - 「にし阿波」を訪れた観光客の満足度の向上
  - 外国人にも分かりやすい観光案内表示の設置を推進

## 【重点項目3】

### 誰もが安全で安心できる地域社会の形成

- 1 **広域防災・受援体制の確立**
  - 西部総合県民局・美馬庁舎の改修をはじめ、西部圏域における防災拠点機能を強化
- 2 **災害に備えた着実な基盤整備**
  - あらゆる自然災害に対応する「にし阿波」の強靱化
  - 災害予防策の強化や森林の多面的機能の向上
- 3 **地域で地域を守る活動の推進**
  - 「命と暮らしを守る」出前講座、通信途絶時を想定した訓練の実施など真に役立つ取組み推進

## 【重点項目5】

### 持続可能な地域経済の推進

- 1 **「にし阿波型もうかる農業」の確立と推進**
  - 「世界農業遺産ブランド」の認定やスマート農業により、「もうかる農業」への取組みを推進
- 2 **森林・林業を核とした「地方創生」**
  - 主伐を中心とした木材の素材生産量の拡大
  - 新規林業就業者や森林プロフェッショナルの育成など人材育成を推進
- 3 **地域特性を活かした商工業の振興**
  - 地元企業とSO、国内外の事業者などが連携し、にし阿波ならではの新しいビジネスを創出

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 持続可能な「にし阿波」の実現！

## 1 観光・移住・交流による地域活力の創生

### ①人が行き交う「にし阿波」活力づくり

- 外国人延べ宿泊者数（暦年）  
（17）28,824人 →（22）35,000人
- 圏域内で観光消費額（一人あたり）  
（17）27,416円 →（22）30,000円

### ②深化する「にし阿波」魅力づくり

- 新**●ホテル・旅館以外での体験型観光の延べ受入泊数  
（17）5,024泊 →（22）6,000泊
- 圏域内での外国人平均宿泊日数  
（17）1.75日 →（22）2.0日

### ③地域を挙げた「おもてなし」態勢づくり

- 新**●「にし阿波」を訪れた観光客の満足度（7段階のうち「大変満足」の割合）  
（17）20% →（22）25%
- 観光地域づくりマネージャーの養成数（累計）  
（17）15人 →（22）25人

## 2 豊かな地域環境の次世代継承

### ①美しい自然環境との共生

- 「剣山サポータークラブ」の会員数（累計）  
（17）621人 →（22）800人
- 新**●希少野生植物の調査や保護を担う人材の育成（累計）  
（17）－ →（22）20人

### ②良好な地域環境の創造

- あわ産LED道路照明灯等の設置基数（累計）  
（17）373基 →（22）725基
- 官民協働型維持管理の参加団体数  
（17）28団体 →（19）～（22）年間30団体以上

### ③環境資源の積極的な活用推進

- 食肉処理加工処理頭数  
（17）238頭 →（19）～（22）年間550頭以上
- 「にし阿波循環型林業支援機構」の支援による造林面積  
（17）年間54ha（過去3年平均） →（19）～（22）年間60ha以上

## 3 誰もが安全で安心できる地域社会の形成

### ①広域防災・受援体制の確立

- 新**●西部総合県民局・美馬庁舎の改修  
（17）－ →（20）完成
- 新**●通信途絶状態等を想定した図上訓練の実施回数  
（17）1回 →（19）～（22）年間1回以上

### ②災害に備えた着実な基盤整備

- 地すべり防止区域内等において、土砂災害の危険度が高く、緊急的かつ集中的に保全する人家数（累計）  
（17）138戸 →（22）235戸
- 土砂災害の危険性のある要配慮者利用施設及び避難所の保全施設数（累計）  
（17）154施設 →（22）172施設

### ③地域で地域を守る活動の推進

- 新●「命と暮らしを守る」防災出前講座・訓練等の開催回数  
(17) — → (19) ~ (22) 年間80回以上
- 新●避難行動要支援者に関する啓発・訓練の実施回数  
(17) — → (19) ~ (22) 各市町 年間2回以上

## 4 誰もが幸せに暮らせる地域の実現

### ①子どもの育ちをはぐくみ、支える地域づくり

- 妊娠・出産・子育てに関する相談支援件数  
(17) 56件 → (19) ~ (22) 年間60件以上
- 放課後児童支援員の認定数(累計)  
(17) 84人 → (22) 170人

### ②心を寄せ合う地域福祉の充実

- 認知症サポーター数(累計)  
(17) 8,345人 → (22) 9,300人
- 新●「西部健康防災公園」を活用した障がい者スポーツ交流会等への参加者数  
(17) — → (19) ~ (22) 年間100人以上

### ③健康寿命延伸に向けた地域力の向上

- 圏域における糖尿病死亡率(人口10万対)(暦年)  
(17) 26.0 → (22) 改善
- 新●「にし阿波・糖尿病サポーター」養成者数(累計)  
(17) — → (22) 60人

## 5 持続可能な地域経済の推進

### ①「にし阿波型もうかる農業」の確立と推進

- 新●「世界農業遺産ブランド」認証件数(累計)  
(17) — → (22) 50件
- 新●スマート農業に取り組む経営体数(累計)  
(17) 2経営体 → (22) 8経営体

### ②森林・林業を核とした「地方創生」

- 素材生産量  
(17) 198,173m<sup>3</sup> → (22) 228,000m<sup>3</sup>
- 新●「木育」普及活動の実施回数(累計)  
(17) — → (22) 8回

### ③国内外との交流を通じた商工業の振興

- サテライトオフィス等誘致企業での雇用者数(累計)  
(17) 83人 → (22) 120人
- 新●お試しテレワーク勤務、視察等を実施する海外企業等数  
(17) — → (22) 15社